



小松電機産業

産業用ビニールシートシャッター用フレーム

韓国製アルミに切換え

産業用ビニールシートシャッター大手の町、小松昭夫社長は、小松電機産業（本社・近く販売開始予定）であ

る主力の「門番」新製品を切替える。同社は韓国に

鋼材から韓国製アルミ成形品に写真に切り

替える。同社は韓国に

現地法人を設立するな

ど、海外展開を加速し

ており、アルミ材への

切り替えも現地での組

立てが狙い。門番は1985年に

品から、フレーム材を

鋼材から韓国製アルミ

成形品に写真に切り

替える。同社は韓国に

現地法人を設立するな

ど、海外展開を加速し

ており、アルミ材への

切り替えも現地での組

販売を開始。昨年5月にはソウル支社を開設した。このたび、ソウル支社を本社とする100%出資の製販子会社として、鉄骨造2階建

社「小松コリア」を設立。資本金は3億2300万円。同社初の海外生産拠点を進める計画。

て300平方メートルの工場を借りる。これまで国内鋼材でフレームを製造していたが、今後の海外展開での現地施工性やメンテナンス性の良好さ、材料の安定供給面に着目し、韓国製アルミ成形品の採用を決定した。

同社は、需要地生産・アフターサービス・小規模工場を核とした「ガレージファクトリー構想」を世界展開の基礎にしている。構想実現の第一号として、まずは韓国を足掛かりに、東南アジアに拡張